

デュッセルドルフ 博物館ガイド

デュッセルドルフのアルトシュタット（旧市街地区）を散策中にこの塔を目にされた方も少なくないかと思います。今日ご紹介するのは、この塔にあるデュッセルドルフの船舶・水運博物館です。



デュッセルドルフは13世紀末に市としての基を築きましたが、その当時からライン河畔に城があったと記録されています。シュロス・トゥルム(城の塔)と呼ばれるこの建物は、今では跡形もなくなってしまった16世紀建造のレジデンスの一部でした。往時にはデュッセルドルフの繁栄のシンボルとして、ライン河畔に丸い塔のある城と呼ばれていました。たびたびの火災の果て、このレジデンスは19世紀末に取り壊されましたが、このシュロス・トゥルムだけはシンボルとして残され、その時代時代に、様々な目的に利用されてきました。戦後も公共利用されていましたが、1978年に抜本的な

修復が決定され、市民の多大な寄付に支えられて1984年修復完成。それと同時にドイツで最古の歴史を持つ船舶・水運博物館としてオープンしました。2015年に再度改装があり、リニューアルされて今日に至っています。ライン川は古の昔から物資輸送路として、商業の大きな担い手でしたが、たびたび起こる洪水に翻弄されていました。その自然の力に対抗し、人為的に河川を操作できるようになったのは19世紀後半のことですが、それ以降、ライン川に港を持つ都市の産業が繁栄してゆきました。博物館内では、考古学的に見たライン川の流れの変化、ライン川で活躍した船の発展、時代に沿った船の模型や、デュッセルドルフの港の歴史をまとめた映画（英語・ドイツ語）などを見ることができます。外見からもわかる通り、中は消して広くなく、地下2階、地上4階がテーマ別の展示になっています。展示されている精密な木造船や目的ごとに違った機能を持った船などの模型は、船舶ファンには見逃せないものではないでしょうか。地下1階には、2008年にデュッセルドルフのカイザースベルト地区の川岸から発掘された1700年代の船についての資料が展示されています。発見された船は長さが17m、幅4mもありました。現在修復のために北ドイツの博物館に預けられています。最上階には博物館入場者だけが利用できるカフェ“ラテルネ”があり、そこからのラインの眺めは一見の価値があります。



博物館名称：Schiffahrtsmuseum im Schlossturm (シフファートルト・ミュージウム イム シュロストウルム)

住所：Burgplatz 30、40213 Düsseldorf

電話：0211-89 941 95 入場料：3ユーロ

開館日時：火曜日から日曜日 11時から18時 月曜休館